アビタイト
2018 winter
Fate/Grand Order
Fan book
R-18
Horizontal World

ビクッ
「マスター、おなかがすいたわ」
カルデアの昼下がり、そこで見られる光景。
傍目には仲のいい兄妹にも見える二人。
だがこの二人の関係は少し特殊だ。
なぜなら彼はマスターと呼ばれる魔術師であり、
彼女はそのサーヴァントである。
サーヴァントは食事を摂る必要がない。
つまり彼女の訴える空腹と、
ただの人間の空腹とでは別の意味を持つことになる。
彼が一瞬怯えた表情をしたのは
その違いに起因する。
彼女にとっての空腹とは、
つまり――
ぎゅ…♥

マスターと呼ばれる男が連れ込まれたのは食堂ではなく彼の自室。アビゲイルの食事はここで行われる。

「マスター、楽になさってね……？」

マスターの局部を露わにすると、おもむろに舌で目当てのモノが詰まった玉を転がし始める。

「心配しないで…すぐにここから出してあげるから…♥」

ギュン

ギュン

男根を小さな口で包み込み優しく愛撫を始めるアビゲイル。裏筋に舌で這わせ、すぼめた唇で主人の弱い部分を刺激する。この一連の動きは慣れたものだ。瞬く間に硬度を得ていくそれを舌で感じ、嬉しそうに目を細める。

咥えるのがつらくなるほど硬く、大きく膨らんだら下ごしらえは完了だ。

「これくらいでいいかしら。それじゃあ――」

ちゅぽ♥

ちゅっ

ちゅぽっ

ちゅぽっ

「いただきまァす……♥」

はーっ♪

はーっ♪

マスターの祖国にある食前の儀礼にならってアビゲイルは掌を合わせた。その瞬間、彼女は「食事用」の姿へと変容する。この姿がこれからの行為に都合がいい理由をアビゲイルは経験によって熟知していた。

馬乗りになり、幼い恥部に主人の男根をあてがう。その唇は我慢こそが最高の愛撫といわんばかりに濡れそぼっている。

「アビーのここ、たぁくさん味わってくださいな……♥」

みちみちと音を立ててマスターの亀頭が埋まっていく。今まで彼と何十、何百と繰り返してきた行為をまるで初めてのようにゆっくりと。

なお、先の台詞は完全に建前であり、実際に味わうのはアビゲイルの方なのだが彼女は一切自覚せずの発言だ。

「あはっ♥」

ビュッ

ビュルッ♡

きゅっ…!!

完全に埋没した瞬間、一回目の吐精。
一滴も漏らさぬよう入り口が締まる。

「いいわマスター♥
そのまま注ぎ込んで…♥」

続いて彼女が腰を動かすごとに
二度目、三度目、四、五、六……。
休みなく精が放たれる。
それぞれが二度の射精だから驚きだ。
誰が見ても普通ではない光景だが
もはやこの空間では日常の出来事。
アビゲイルの膣内は萎えることを許さない。

ドクン

ドクン

ぶるぶる

「もっと…♥
もっとよ……♥」

ふぅ

ふぅ

ふぅ

ふぅ

ばちゅ

パン

パン

ばちゅ

がく

がく

その細い腕からは
想像できない力で身体を捕らえ、
腰で咀嚼を続けるアビゲイル。
絶えず送られてくる主人の精の味に
恍惚の表情を浮かべる。

感情の昂りに応じて
腰を打ち付ける速度が速まっていく。
蝶をあしらった衣装の彼女だが
こうなってくるとむしろ
巣で蝶を喰らう蜘蛛のようだ。

一方、喰われる蝶の側は
もたらされる快感の大きさに
声すら上げられず悶絶するのみ。

霊基の再臨が進行し、いよいよ人外めいた姿となってきたアビゲイル。食事もいよいよクライマックスといったところか。

召喚した触手でマスターを縛り上げ、意のままに動かし、擬似正常位を楽しむ。触手での強制的な抽送が腰のグラインドと合わせて長いストロークで竿全体をしごきあげる。

「いあっ♥いあっ♥もう…おじまいかしら？ますたぁ♥」

返答はなく、その四肢はぶらぶらと揺られているだけ。意識はとうに失われているが、痙攣する男根が代わりに態度を示す。

「アビーのなか…こぼれるほどにくださいなっ♥」

「♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥」

おびただしい量の精液がアビゲイルの膣内に放たれる。

痙攣しながらも膣壁は脈動し正確に射精を促す。ポンプの汲み取りのような搾精作業は数十秒もの間続けられ――

「ごちそう……さまでした…♥」

完全に射精は終了した。

脱力した二人を触手が引き離す。

これにてアビゲイルのお食事は終了だ。

はー…♡

はー…♡

はー…♡

はー…♡

「ますたぁ……今日もとってもおいしかったわ…♥」

横たわる捕食対象へ向けて感謝を述べる。

貧しい村の出のアビゲイルは食べの感謝を忘れない。

その証拠に――

あれだけの量を射精されたにも関わらず溢れた精液はわずか。

いい子を目指すアビゲイルに食べ残しなど言語道断だ。

食事の満足感で気が緩んだのか、彼女は眠りにつく。

枕がわりのマスターには食後の居眠りを咎める気力は残されていない。

サーヴァント

アビゲイル・ウィリアムズ。

少しだけ甘えん坊ないたって普通の少女。

彼女は今食べ盛りのお年頃……。

◆奥付◆

アビタイト

2018年　12月31日　発行
発行：またのんき▼
twitter:@kinnotamadx
http://kinnotamadx.tumblr.com/
mail:horizonworld@hotmail.co.jp
表紙デザイン：MBB(@MBBniki)
印刷：トム出版様

■18歳未満の購入・閲覧禁止■
■無断転載・複製・配布等禁止■

アビーちゃんで出すならこういうのかなーって
考えてたのをこの長さにしてみました。
文章で説明するのってなんかずっこいかなって
思ってましたがこの尺くらいなら
いいかもしれませんねー。

会場まで来てくれてありがとう！
それでは良いお年を！